

令和 8 年 7 月 24 日

門川町議会議長 様

(6 番) 門川町議会議員 松本 良一 印

一 般 質 問 通 告 に つ い て

令和 8 年門川町議会第 3 回定例会において、下記のとおり質問いたしたいので会議規則第 61 条第 2 項の規定により通告いたします。

受 付	7 月 24 日 午前 9 時 50 分	N o . 1
--------	----------------------	---------

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1. 地震・津波 対策について	去る 7 月 1 日午前 8 時 40 分ごろ、延岡市、日向市、門川町など宮崎県北部で震度 4 を観測する地震があった。 自分は、門川小算数支援員として、門小の教室で算数支援を行っていたが、地震が発生したその瞬間、クラスの児童は全員机の下に身をかがめ、地震が収まるまでじっと待機していた。この状況をみて、普段から地震に対する備え、対策が十分行き届いていることに感激した。 一方、毎年、町が実施している一斉避難訓練には、小・中学校の児童・生徒の参加者が少ないことに危機感を覚える。町として、各小学校及び中学校へ、この訓練への参加要請は行っているのか、お尋ねします。 また小・中学校の元気な児童・生徒や健常の大人の方々ならば津波が発生しても避難は可能と思うが、高齢者や歩行困難な方々の避難について、例えば、避難所への避難は徒歩での避難が原則であるということは承知しているが、歩行困難の方々が車での避難についてどう考えるのか。 さらにこのような方々への個別避難計画の策定状況はどうなっているのか。併せてお尋ねします。	町 長

2. 空き家対策について	7月6日午前5時37分ごろ、JR日豊線門川駅近くで、線路脇に倒壊した空き家と下り普通電車が接触した。 幸い乗客約20人に怪我はなかったが、倒壊した空き家の除去作業のため、延岡―高鍋間で特急、普通列車合わせて上下計26本が運休するなど約2500人に影響が出たと新聞報道があった。 現在、本町においてこのような倒壊の危険がある家屋は、どれぐらいあるのか。またその対策は。 またこの家屋は、数十年前から空き家だったとのこと、町でも特定空き家の指定を視野に入れていたというが、この「特定空き家」とはどのようなものか。 お伺いします。	町 長
---------------------	---	------------